

RD 14 解説と全訳例

(1) There are many legends regarding the origin of the Blarney Stone, and most of them are related to Bible stories.

There	are	many legends
B	=	A

↑ regarding the origin of the Blarney Stone

and

most of them	are	related	to Bible stories
A	=	B	

- ・ regarding は「～について・関して」の意味の about と同じ前置詞。
- ・ A is related to B で「AはBと関係している」。relate は「関係させる」の意味の「させる系」だから、受け身の形をしていても、状態進行形の訳語がつく。

【全訳例】 ブラーニー石の起源についてのたくさんの伝説があって、その中のほとんどが聖書の物語に関係している。

(2) One says it was the rock that Moses struck with his staff to produce water for the Israelites, who were escaping from Egypt.

One	says	[that]+文
主	言う	何を

<文>

Moses	struck	the rock	with his staff
主	叩いた	何を	to produce water / for the Israelites

↑ who were escaping from Egypt

- ・ one says that 文の one は「人」。でも「～と人は言う」よりも「～だと言われている」の方が日本語的。
- ・ Moses は予言者の「モーゼ」で、シナイ山で神から十戒をもらった人。
- ・ strike は「叩く・殴る」の意味で、[strike - struck - struck - striking]と活用する。
- ・ staff は、モーゼの話なら、「職員・スタッフ」じゃなくて「杖」。
- ・ 「it is + 強調したい語句 that + 残り」は強調構文。「AはBだ」と訳出して、Bに強調したい語句、Aに残りの語句を持ってくる。

【全訳例】 ある話では、イスラエル人の為に水を出そうとして、モーゼが自分の杖で叩いたのがこの石だったと言われている。そのイスラエル人達はエジプトから逃げているところだった。

(3) Another says it had once been Jacob's Pillow and that the prophet Jeremiah had brought it to Ireland.

Another [story]	says	{ [that]+文 1 and that + 文 2
主	言う	何を

<文 1>

it	had been	Jacob's Pillow
A	=	B

↑ once

<文 2>

the prophet Jeremiah	had brought	it	to Ireland
主	持って行った	何を	

- ・ 「言う+何を」の that + 文で、最初の that は省略可能だが、2つ目の that は省略しない。
- ・ the prophet と Jeremiah とは同格。
- ・ 副詞 once が had + 過去分詞の間に割り込んでいるのに注意。

【全訳例】 別の話によると、ブラーニー石は、かつてはヤコブの枕であったり、予言者エレミヤがアイルランドにその石を持ってきたという。

(4) Yet another says it was the Stone of Ezel, which David hid behind while escaping from King Saul.

Yet another [story]	says	[that]+文
主	言う	何を

<文>

it	was	the Stone of Ezel
A	=	B

↑ which David hid behind / while [he was] escaping from King Saul

- ・ 「, which」は非制限用法の関係代名詞だから、直前で文を区切って「。」で終わらせ、接続詞 and、but、because でぶんを続けて、先行詞を代名詞化した主語で続きの文を始める。
- ・ while escaping は「接続詞+A=B」だから、「A=」が省略可能。

【全訳例】 さらに別の話では、ブラーニー石はエゼルの石だったという。そして、その石の後ろに、サウル王から逃げている最中に、ダビデが隠れたという。

(5) Still others claim it is from the Wailing Wall of the temple in Jerusalem.

Still others [=other stories]	claim	[that]+文
主	断言する	何を

<文>

it	is	from <the Wailing Wall>of<the temple>
A	=	B

↑ in Jerusalem

- ・ stories が claim するので「要求する」ではなくて「主張する」とか「断言する」の方。
- ・ the Wailing Wall は、ユダヤ、パレスチナ双方にとって神聖な場所で、ローマがヘロデ王の城を破壊した時に残った西の壁だと言われている。
- ・ the Wailing Wall of the temple の A of B は「Bの中のA」で「部分の of」。ここでは「Bの一部のA」と直訳をして方が良い。

【全訳例】 さらに別の話では、ブラーニー石はエルサレムにある寺院の「嘆きの壁」の一部だと断言している。

(6)The most commonly accepted story of the stone, one not associated with the Bible, is that it is a portion of Scotland's ceremonial Stone of Scone and was presented to King Cormac MacCarthy I in 1314 by Robert the Bruce, King of Scotland, as a symbol of appreciation for Irish support in the struggle against English domination.

<The most commonly accepted story>of<the stone> one [=story]	is	that + 文
A	=	B

[which was] not associated with Bible

<文>

it	is	<a portion>of<Scotland's ceremonial Stone>of<Scone>
	and	
A	was	presented
	=	B

to King Cormac MacCarthy in 1314
by Robert the Bruce, King of Scotland
as <a symbol>of<appreciation> for Irish support in the struggle
against English domination

- ・ <the most commonly accepted story>of<the stone>の A of B は、of が独立していて、about と同じ意味の「関連の of」。だから、of the stone で「その石に関して」となる。
- ・ 直後の one not associated ~ は、a book written in English と同じで、過去分詞から始まる形容詞。a book which is written in English と、関係代名詞を使っても表現できる。コンマで挟まれているので、挿入的な説明だと分かる。
- ・ portion は part と同じで「1 部分」の意味。だから、portion of Scotland's ceremonial Stone の A of B は「部分の of」。
- ・ Scotland's ceremonial Stone of Scone の A of B は「B という A」の同格。
- ・ presented の後半は「誰に対してプレゼントされたの？」の to、「誰によってプレゼントされたの？」の by、「何としてプレゼントされたの？」の as が続く。
- ・ as a symbol は as a sign と同じで「印として」。as は「資格の as」。
- ・ appreciation for A で「A に対する感謝の気持ち」。

【全訳例】最も一般的に受け入れられているブラーニー石の話は、聖書には関係してはいないのだが、その石はスコーンと呼ばれている、スコットランドの儀式で使う石の一部で、イギリスの支配に対する闘争で、アイルランドが味方してくれたことへの感謝の印として、1314年にスコットランド王であるロバート＝ブルースから、コーマック＝マカーシー王にプレゼントされたものだ。

(7)Whatever its origin, the one thing historians are sure of is that the stone was set into the wall of Blarney Castle when Dermot MacCarthy rebuilt the castle in 1446.

Whatever its origin [might be]		
the one thing	is	that + 文
A	=	B

[that] historians are sure of

<文>

the stone	was	set	into the wall of Blarney Castle
A	=	B	when Dermot MacCarthy rebuilt the castle in 1446

- ・ whatever が譲歩で用いられている。
- △たとえ何をするにしても、全力を尽くせ。
- Whatever you may do, you should do your best.
- =No matter what you may do, you should do your best.
- ・ set A into B で「A を B の中に配置する、はめ込む」の意味。

【全訳例】その起源が何であれ、歴史家たちが確信している事は、1446年にダーモット＝マッカーシーがブラーニー城を再建したときに、ブラーニー石が城壁にはめ込まれたということだ。